

2026年3月18日

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「外来抗菌薬使用状況の指標に関する多施設共同研究」への協力のお願い

感染制御室では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年1月～2025年12月の間に、当院において、外来にて経口抗菌薬治療を受けられた方

研究期間：研究の実施許可日～ 2028年3月31日

研究目的・利用方法：薬剤耐性(Antimicrobial resistance, AMR)は世界で最も重要な公衆衛生課題のひとつであり、AMRに関連して米国では年間3.5万人以上、欧州では年間3.3万人が死亡していると推定され、2050年には関連死亡数が世界全体で年間1,000万人に達すると予測されています。

医療機関における抗微生物薬の使用量は、AMRと密接な関係があることが報告されており、AMRと抗菌薬の使用量、特に、医療機関における抗菌薬の使用量はAMRと密接な関係があることが報告されています。

ただし、現状では多施設の外来抗菌薬の使用状況を評価する際の明確な指標は明らかではありません。本研究では、包括医療費支払い制度方式(DPC)において、厚生労働省へ報告しているDPC調査の診療報酬に関するデータから多施設における外来抗菌薬の使用状況を集計し、より適切な外来抗菌薬の評価指標について検証します。適切な評価指標を見出すことにより、AMR対策に関して本邦の病院における外来抗菌薬の処方動向の施設横断的な評価と適正使用の推進が期待できると考えます。

研究に用いる試料・情報の項目：外来にて処方された経口抗菌薬の使用量

研究に用いる試料・情報の利用又は提供を開始する予定日：研究の実施許可日

外部への試料・情報の提供：氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工した上で電子的に提供する。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、

代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター総合感染症科
氏名：早川 佳代子

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 医学部附属病院生体支援センター
氏名：馬場 尚志

共同研究機関等：岐阜大学医学部附属病院 馬場尚志
中村記念病院 山田 和範
市立函館病院 酒井 好幸
北海道大学病院 遠藤 知之
国立成育医療研究センター 大宜見 力

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 感染制御室
電話番号：058-230-6088
氏名：丹羽 隆

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp